

公益社団法人日本プロゴルフ協会
平成27年度 事業報告書

自：平成27年1月1日～至：平成27年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた
社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格認定講習会はA級、B級の2階級を実施し、B級講習会については、新規にティーチングプロ資格取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級資格取得者に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は83名（PGA64名、LPGA19名）が受講し、PGAの受講者で講習会を修了した64名（内トーナメントプレーヤー1名）に対しては、平成28年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。

B級（新規）講習会は102名（PGA96名、LPGA6名）が受講し、PGAの受講者でレポート、検定に合格し、講習会を修了した者81名に対して入会セミナーを実施した。入会セミナー受講終了者は平成28年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定し、入会登録となる。

B級（移行）講習会は7名が受講し、講習会を修了した7名に対しては、平成28年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

平成28年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会受講希望者152名（プレ実技42名、実技審査110名）に対して、受講審査として書類審査、プレ実技審査、実技審査を実施し、93名が通過した。

更に、通過者に対して面接審査及び筆記試験を実施し、合格した88名に平成28年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会の受講を認めた。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格認証のためプレ予選2会場、1次プロテスト3会場、2次プロテスト4会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、55名が合格し、入会セミナーの受講を経て、平成27年12月18日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定し入会登録された。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパンゴルフツアー賞金ランキングシード権取得者またはツアー競技優勝者で入会を希望する者（2名）については、入会セミナーの受講により、平成27年12月18日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定し入会登録された。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) 研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国13会場にて研修会を実施した。

(2) PGAティーチングプロアワード

優れた指導理論や顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワードは、2015年度は19名が参加。本年度は選考会を12月に実施し、選

考会を通過した3名が2016年2月のゴルフフェアにて最終審査を行う。

(3)PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム「プロスポーツティーチングセミナー」を公益社団法人日本職業スキー教師協会及び公益社団法人日本プロテニス協会と合同で実施し20名が参加した。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1)ジュニアゴルファー育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体等が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、ゴルフを経験させていくジュニアゴルファー育成プロジェクトは、2015年度は神奈川県にて実施し、49名のジュニアが参加した。また東条の森カントリークラブと太平洋クラブ益子PGAコースでも実施し、合わせて99名のジュニアが参加した。

(2)キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー5試合でイベントを実施し、延べ138名のジュニアが参加した。

(3)春休み親と子&シニアゴルフレッスン会(2015年3月実施事業)

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父(祖母)と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、全国33会場で開催し、延べ849名が参加した。

(4)ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、全国で44イベントが実施され、延べ3,373名が参加した。尚、助成金の総額は3,325,347円。

(5)ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを118会場、述べ533名派遣した。

(6)日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体(公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、全国高等学校ゴルフ連盟)によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)の活動に対して以下の支援を行った。

- ① JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対しPGA会員並びに事務職員を派遣した。
- ② 助成金として150万円を支出。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第83回日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯

開催日：平成27年5月14（木）～17（日）

場 所：太平洋クラブ 江南コース（埼玉県）

優勝者：アダム・ブランド

備 考：併せて予選会を全国7会場（1次予選6会場、最終予選1会場）にて実施

(2) 第54回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：平成27年10月8日（木）～11日（日）

場 所：サミットゴルフクラブ（茨城県）

優勝者：室田淳

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ゴルフパートナーカップ

開催日：平成27年6月5日（金）～6日（土）

場 所：よみうりカントリークラブ（兵庫県）

優勝者：ゴールドの部 佐藤正一 グランドの部 重信秀人

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施。

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：平成27年4月23日（木）～24日（金）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：初見充宣

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：平成27年5月19日（火）～20日（水）

場 所：成田ゴルフ倶楽部（千葉県）

優勝者：長谷川勝治

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：平成27年4月22日（水）～23日（木）

場 所：ローモンドカントリー倶楽部（三重県）

優勝者：ゴールドの部 井上久雄 グランドの部 西川貴祥

(4) 第17回日本プロゴルフ新人選手権大会 ゼロホールカップ

開催日：平成27年11月5日（木）～6日（金）

場 所：谷汲カントリークラブ（岐阜県）

優勝者：伊藤誠道

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第4回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会

開催日：平成27年11月5日（木）～6日（金）

場 所：谷汲カントリークラブ（岐阜県）

優勝者：山下英章

第11回PGAティーチングプロシニア選手権大会
開催日：平成27年10月1（木）～2日（金）
場 所：チェリーレイクカントリークラブ（三重県）
優勝者：高崎龍雄

第17回PGAティーチングプロ選手権大会
開催日：平成27年10月20日（火）～21日（水）
場 所：静ヒルズカントリークラブ（茨城県）
優勝者：内藤裕之
備 考：併せて予選会を3会場で実施。

(6) PGAジュニアゴルフ選手権

PGAジュニアゴルフ選手権については、平成28年度の開催を目指し、一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟をはじめ関係各所と開催に向けての打合せや検討を実施した。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) PGAフィランスロピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国19会場で実施し、延べ1,124名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額5,800,000円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は2,629,288円となった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を10月6日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、108名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、役員を派遣し、海外プロゴルフ協会（PGA）との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手ならびに役員、事務局員を派遣した。

- ・ マスターズトーナメント（4月9日～12日・米国） 日本選手1名が出場
- ・ 全米プロゴルフシニア選手権（5月21日～24日・米国） 日本選手4名が出場
- ・ 全英シニアオープン（7月23日～26日・英国） 日本選手9名が出場

(4) 広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

② 公式Facebook

公式Facebookは公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

- ③ P G A シニアツアー競技成績の報道機関への配信
共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、P G A シニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。
- ④ ゴルフフェア
一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年2月に開催されるジャパンゴルフフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。
- ⑤ 競技記録の管理
シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

(5) 出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（P G A 基本ゴルフ教本、ゴルフ体操、ジュニア基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本 みんなでゴルフ、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

(6) ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

公益財団法人日本ゴルフ協会が主催する「合同ルール研究会」に、当法人の専門競技委員及び競技担当事務局員を派遣し、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学んだ。「合同ルール研究会」で得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人の競技特別規則（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

(7) ゴルフアカデミー事業

ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興のため、P G A ゴルフアカデミーを設立し、ジュニアゴルファー及び一般ゴルファーへのゴルフ技術ならびに、ルール、マナーなどの指導を実施した。更に会員を対象とする自己研鑽のための競技会や講習会等を実施し、プロゴルファーの資質向上に努めた。

【収益事業】

収 1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でP G A シニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

金秀シニア 沖縄オープンゴルフ トーナメント2015

開催日：平成27年4月17日（金）～18日（土）

場 所：喜瀬カントリークラブ（沖縄県）

優勝者：久保勝美

～シニアを元気に!!～ KYORAKU MORE SURPRISE CUP 2015

開催日：平成27年5月29（金）～31日（日）

場 所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県）

優勝者：崎山武志

第16回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日：平成27年6月12日（金）～14日（日）

場 所：スターツ笠間ゴルフ倶楽部（茨城県）

優勝者：室田淳

マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日：平成27年8月1日（土）～2日（日）

場 所：太平洋クラブ 六甲コース（兵庫県）

優勝者：崎山武志

ファンケルクラシック

開催日：平成27年8月21日（金）～23日（日）

場 所：裾野カントリー倶楽部（静岡県）

優勝者：室田淳

郷心会40周年記念 広島シニア選手権大会

開催日：平成27年8月27日（木）～28日（金）

場 所：広島カントリー倶楽部 西条コース（広島県）

優勝者：倉本昌弘

アルファクラブCUP シニアオープン

開催日：平成27年9月5日（土）～6日（日）

場 所：矢板カントリークラブ（栃木県）

優勝者：崎山武志

コマツオープン2015

開催日：平成27年9月10日（木）～12日（土）

場 所：小松カントリークラブ（石川県）

優勝者：崎山武志

第25回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

開催日：平成27年10月29日（木）～11月1日（日）

場 所：COCOPA RESORT CLUB 白山ヴィレッジゴルフコース QUEEN コース（三重県）

優勝者：平石武則

富士フィルムシニアチャンピオンシップ

開催日：平成27年11月5日（木）～7日（土）

場 所：ザ・カントリークラブ・ジャパン（千葉県）

優勝者：渡辺司

ISPS・HANDA CUP・フィランスロピーシニアトーナメント

開催日：平成27年11月20日（金）～22日（日）

場 所：成田ヒルズカントリークラブ（千葉県）

優勝者：秋葉真一

いわさき白露シニアゴルフトーナメント

開催日：平成27年11月27日（金）～29日（日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開闢コース（鹿児島県）

優勝者：陳志忠

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

～東日本大震災復興支援チャリティ～ 第2回パラッツォカップ鹿島の杜シニアオープントーナメント（優勝：奥田靖己）

YUKO GROUP PRESENTS 第1回セヴンヒルズカップ KBCシニアオープン

（優勝：ゲロリー・マイヤー）

第4回北関東シニアオープンゴルフ選手権大会（優勝：久保勝美）

第3回 トラストパークカップ 佐世保シニアオープンゴルフトーナメント（優勝：東 聡）

アサヒ緑健カップ 第17回TVQシニアオープンゴルフ（優勝：渡辺司）

【シニア特別協力競技】

ふくおかフィナンシャルグループカップ チャリティゴルフIN福岡CC

【シニア協力競技】

仰徳台日友好杯（優勝 団体：日本、 個人：室田淳）

【グラウンド・ゴールド公認競技】

第6回ユニデングランドシニアチャンピオンシップ（優勝：室田淳）

【後援競技】

第32回 岐阜オープンクラシック2015（優勝：谷口徹）

北陸オープンゴルフトーナメント2015（優勝：宮本勝昌）

【特別後援競技】

ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント（優勝：奥田靖己）

【協力競技】

2015兵庫県オープンゴルフトーナメント（優勝：大谷俊介）

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

(LPGA)との共同主催により、Hitachi 3Tours Championship 2015を実施し、LPGAチームが優勝した。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与する。

本年度はジャパンPGAゴルフクラブ(千葉県)に対し「ジャパンPGA」の名称を継続して貸与すると共に、ネクサスマーケティング株式会社に対して、ゴルフ用品等の製作、販売のため商標の使用権を貸与した。

また、JCBカードと提携し会員となった方に対して、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はチャレンジ競技1試合、フレンドシップ1試合、シニア選考会3会場、プロテスト選考会1会場、グランドシニア選考会1会場を実施した。

2. 会報誌「PGAレポート」は1月、5月、9月の3回発行し、新規入会者へのウェア等の配布、会員証の発行、会員名簿の発行、ルールブックの配布、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。

3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業

プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。

4. PGAチャンピオンシップサミット

日本プロゴルフ選手権大会の告知を兼ねて、協賛社、マスコミ、関係者などを招待した懇親会を8月31日に開催し、約100名が参加した。

【コンプライアンス関連】

平成26年4月に内閣府より受けた勧告を踏まえ、当法人としてコンプライアンスの徹底と暴力団排除の取り組みを引き続き実施し、平成27年5月に第3回目の報告書を提出した。

当法人が平成27年度に実施したコンプライアンスに関する主な施策は以下のとおり。

- ① 平成26年12月から平成27年1月にかけて、全国で暴力団排除セミナーを10回開催し、226名の会員が受講した。
- ② ティーチングプロ会員が参加する実技研修会9会場において、当協会の参与により暴排セミナーのカリキュラムを簡略した内容の講習を実施し、823名の会員が受講した。
- ③ 平成26年5月から運用を開始したコンプライアンス相談・通報窓口「PGA119番」については、運用開始から25件の相談・通報があり、通報についてはコンプライアンス委員会で事実関係を調査の上対応を行った。

- ④ 入れ墨（タトゥーを含む）の取り扱いについて、3月度定例理事会において会員に対して入れ墨を禁止する方向性が確認され、その後、コンプライアンス委員会ならびに規程整備委員会にて検討し、5月度定例理事会において、入れ墨を禁止する条項を会員倫理規程に追加することを決議した。さらに、新入会員については、入会時に徴収する「表明確約書」の中に入れ墨に関する条項を追加した。
- ⑤ 地域のゴルフ振興を促進することならびに、地域の会員と本部のつながりを強くしてガバナンスを強化することなど目的として、地域や県から希望があった場合には定款に定める「従たる事務所」として、「地域事務所」を設置することを認めることとした。

【経営戦略関連】

平成27年2月の社員総会において、経営戦略会議がまとめた「ゴルフ市場再生活活性化に向けた新たな提案（2000万人潜在需要層の掘り起こしに向けて Challenge New）」と題した提言書が発表された。この提言書には、現在、縮小の一途をたどっているゴルフ業界を憂い、ゴルフ市場を再活性化するため、2千万人と言われるゴルフの潜在需要層を掘り起こすために必要な課題とビジネスモデルが数多く提案されている。

そして、提言書に記載されたビジネスモデルの具体的実施に向けて、平成27年7月に経営戦略委員会を設置して検討を行った。さらに、平成27年10月にゴルフ用品業界に影響力を持つ矢野経済研究所と業務提携契約を結び、PGAの新規事業の導入展開と、用品業界との新たなビジネスの構築に取り組んだ。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

以上